

資 料 編

<集計方法（A～E 枠を設置した場合）>

回収したゴミの集計方法は、調査枠の海岸方向（1～5）と内陸方向（A～E、 ）とした。海岸方向の集計は、St. 番号ごとに集計した数値を 100 m²に換算して示した。また、内陸方向の集計では、 の面積が、2m 枠（A～E）より大きいため、2m 枠と同じ 4 m²に換算し、2m 枠（A～E）1 個あたりに換算して集計した数値を示す（図 1 参照）。

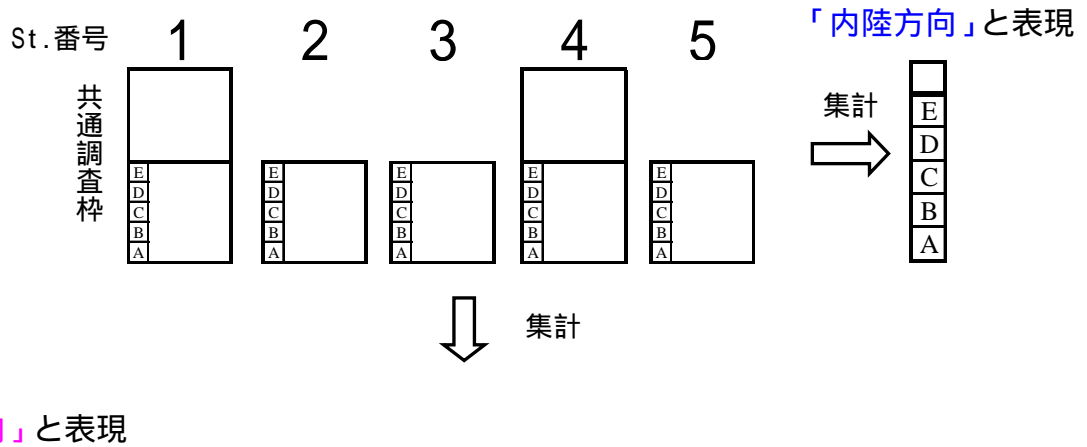


図 1 集計方法イメージ（A～E 枠を設置した場合）

<集計方法（A～E 枠を設置しなかった場合）>

回収したゴミの集計方法は、調査枠の海岸方向（1～5）と内陸方向（ ～ ）とした。海岸方向の集計は、St. 番号ごと（1～5）に集計した数値を 100 m²に換算して示した。また、内陸方向の集計では、調査枠番号（ ～ ）ごとに集計した数値を 4 m²（一部は 100 m²）に換算して示す。

1. 山形県 飛島西海岸

1.1 第3回目

海岸方向における重量 (kg/100 m²) での集計結果を図 2 に示す。海岸方向のゴミの重量は、St.1 (袖の浜) および St.4 (田下海岸) が最も多く、次いで St.2 (ツブ石海岸) が多かった。ゴミの重量が多い地点は、生物系漂着物 (流木・灌木、海藻類) が多かったが、St.1 (袖の浜) はプラスチック類の方が多かった。

内陸方向における重量 (kg/4 m²) での集計結果を図 3 に示す。内陸方向のゴミの重量は汀線より 4~6m の C が最も多く、次いで 6~8m の D が多かった。また、容量の傾向は、海岸方向、内陸方向とも重量の傾向とほぼ同様であった (図 4、図 5 参照)。

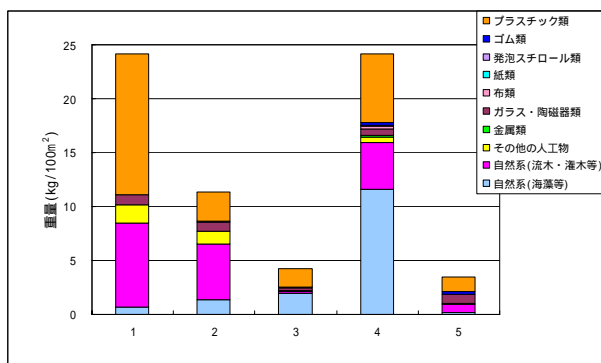


図 2 材質別の重量 (海岸方向 : kg/100 m²)

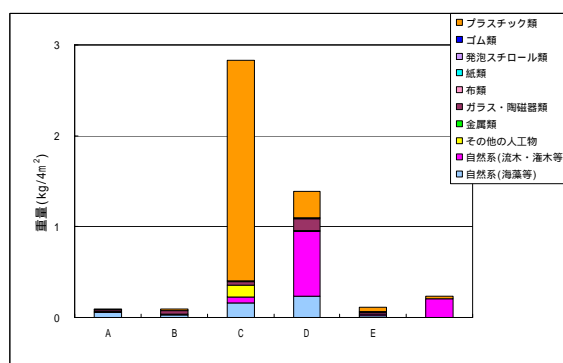


図 3 材質別の重量 (内陸方向 : kg/4 m²)

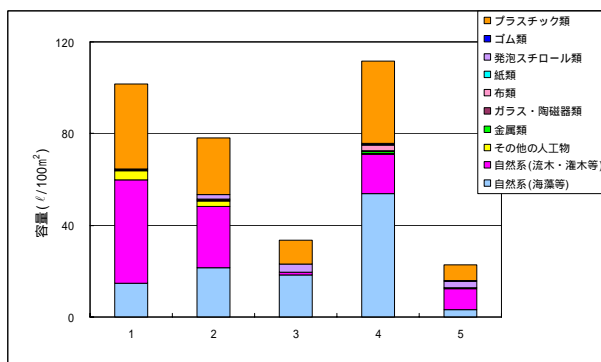


図 4 材質別の容量 (海岸方向 : l/100 m²)

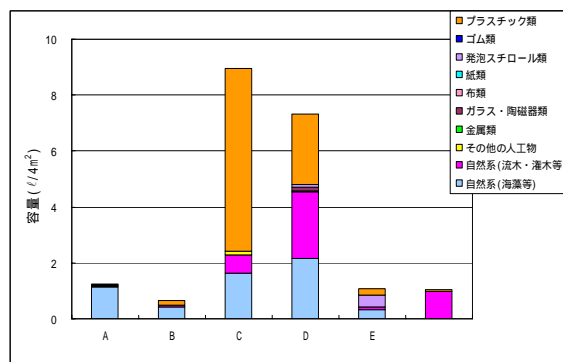


図 5 材質別の容量 (内陸方向 : l/4 m²)

1.2 第4回目

海岸方向における重量 (kg/100 m²) での集計結果を図 6 に示す。海岸方向のゴミの重量は、St.1 (袖の浜) が最も多く、次いで St.4 (田下海岸) が多かった。ゴミの重量が多い地点は、生物系漂着物 (流木・灌木、海藻類) が多かったが、St.1 (袖の浜) はプラスチック類も多かった。

内陸方向における重量 (kg/4 m²) での集計結果を図 7 に示す。内陸方向のゴミの重量は、汀線に近い場所から海藻が多くなっている。また、容量の傾向は、海岸方向、内陸方向とも重量の傾向とほぼ同様であった (図 8、図 9 参照)。

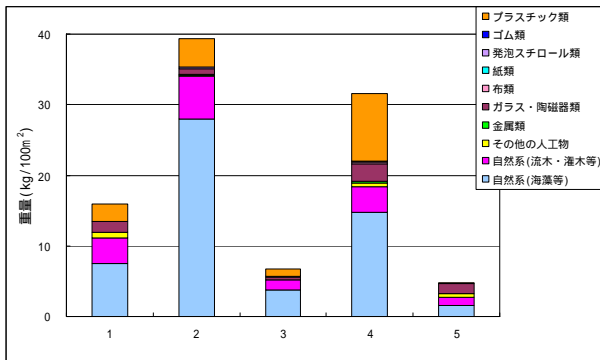


図 6 材質別の重量 (海岸方向 : kg/100 m²)

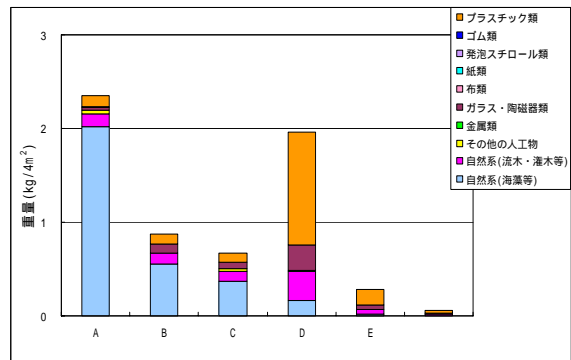


図 7 材質別の重量 (内陸方向 : kg/4 m²)

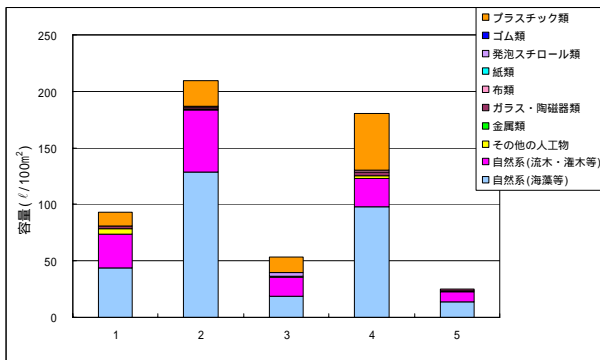


図 8 材質別の容量 (海岸方向 : /100 m²)

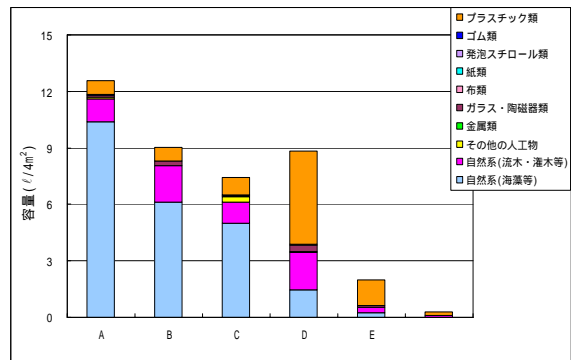


図 9 材質別の容量 (内陸方向 : /4 m²)

2. 山形県 赤川河口部

2.1 第3回目

海岸方向における重量(kg/100 m²)での集計結果を図 10 に示す。海岸方向のゴミの重量は、十里塚駐車場に近い St.1 が最も多かった。また、どの調査地点も生物系漂着物が多かった。

内陸方向における重量(kg/100 m²)での集計結果を図 11 に示す。内陸方向のゴミの重量は、汀線から 20~30m の が最も多く、次いで 30~40m の が多かった。また、汀線に近い 以外の調査地点は、生物系漂着物(流木・灌木)が多かった。

また、容量の傾向は、海岸方向、内陸方向とも重量の傾向とほぼ同様であった(図 12、図 13 参照)。

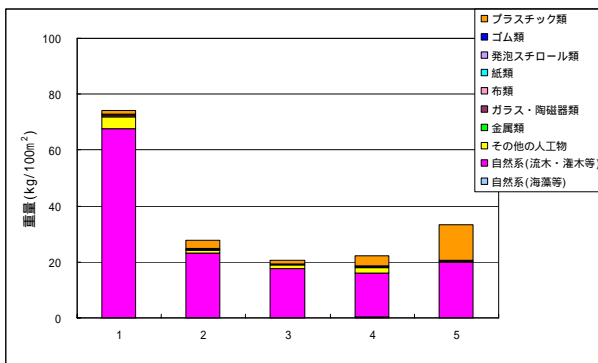


図 10 材質別の重量(海岸方向: kg/100 m²)

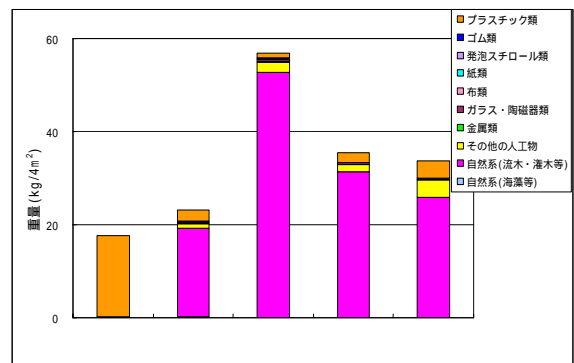


図 11 材質別の重量(内陸方向: kg/100 m²)

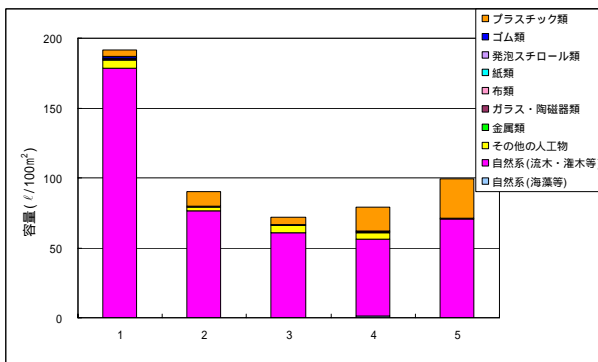


図 12 材質別の容量(海岸方向: l/100 m²)

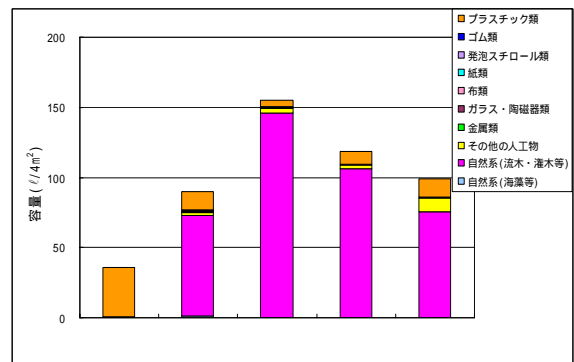


図 13 材質別の容量(内陸方向: l/100 m²)

2.2 第4回目

海岸方向における重量(kg/100 m²)での集計結果を図 14 に示す。海岸方向のゴミの重量は、St.2 が最も多かった。また、どの調査地点も生物系漂着物が多かった。

内陸方向における重量(kg/100 m²)での集計結果を図 15 に示す。内陸方向のゴミの重量は、汀線から 30~40m の が最も多く、次いで 40~50m の が多かった。

また、容量の傾向は、海岸方向、内陸方向とも重量の傾向とほぼ同様であった(図 16、図 17 参照)。

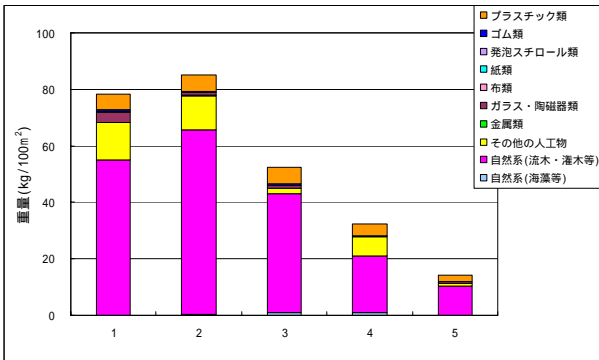


図 14 材質別の重量 (海岸方向 : kg/100 m²)

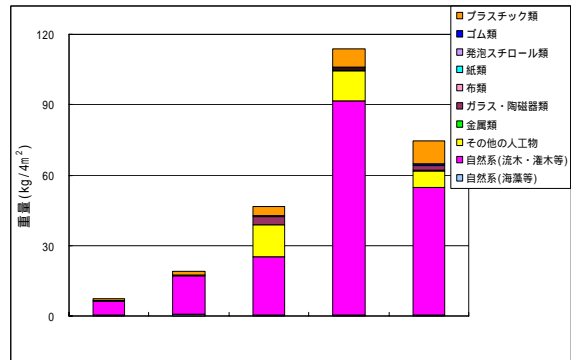


図 15 材質別の重量 (内陸方向 : kg/100 m²)

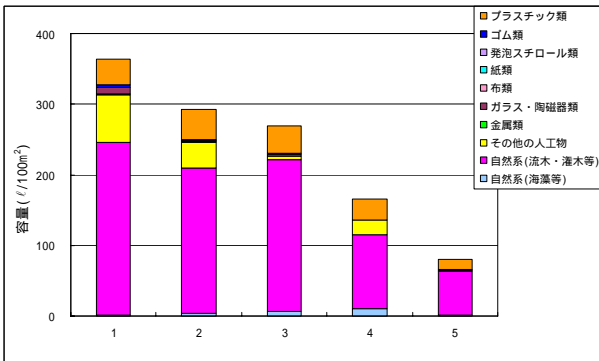


図 16 材質別の容量 (海岸方向 : l/100 m²)

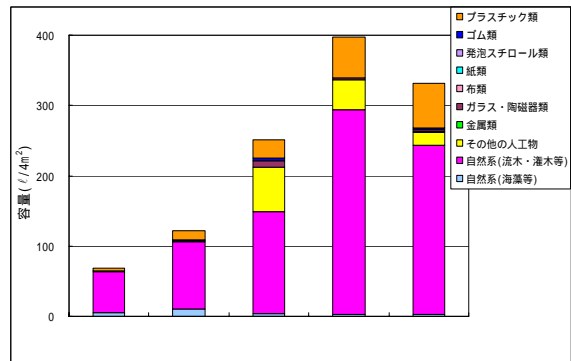


図 17 材質別の容量 (内陸方向 : l/100 m²)

3. 石川県

3.1 第3回目

海岸方向における重量 (kg/100 m²) での集計結果を図 18 に示す。海岸方向では、St.1 が最も多く、次いで St.3 が多かった。

内陸方向における重量 (kg/4 m²) での集計結果を図 19 に示す。内陸方向では、海側から陸側になるにしたがって多くなる傾向があった。 ~ 枠までは、生物系漂着物 (主に海藻) が多かったが、 枠は、その他の人工物、プラスチック類も多くみられた。

また、容量の傾向は、海岸方向、内陸方向とも重量の傾向とほぼ同様であった (図 20、図 21 参照)。

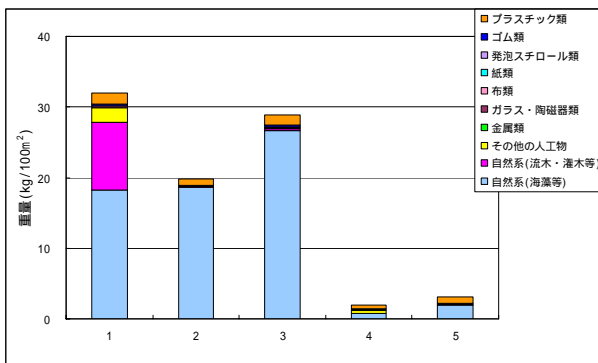


図 18 材質別の重量 (海岸方向 : kg/100 m²)

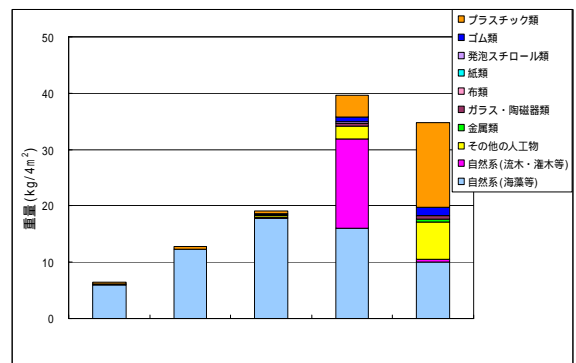


図 19 材質別の重量 (内陸方向 : kg/4 m²)

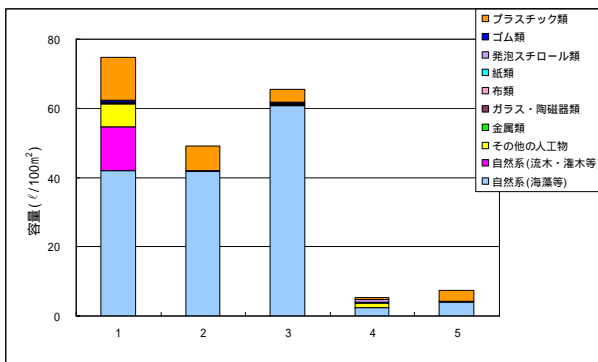


図 20 材質別の容量 (海岸方向 : l/100 m²)

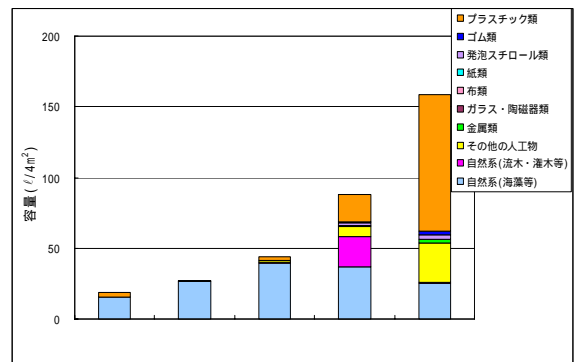


図 21 材質別の容量 (内陸方向 : l/4 m²)

3.2 第4回目

海岸方向における重量 (kg/100 m²) での集計結果を図 22 に示す。海岸方向では、St.1 が最も多く、その他の地点では 2kg/100 m²以下とゴミの量は少なかった。種類別では、生物系漂着物 (主に海藻) が多かった。

内陸方向における重量 (kg/4 m²) での集計結果を図 23 に示す。内陸方向では汀線に近い所で海藻が多かったが、汀線から遠いでも海藻が多かった。

また、容量の傾向は、海岸方向、内陸方向とも重量の傾向とほぼ同様であった (図 24、図 25 参照)。

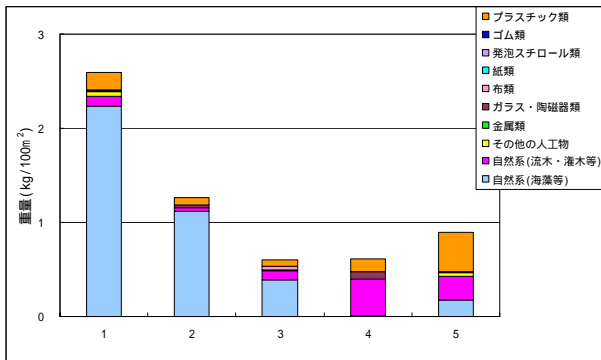


図 22 材質別の重量 (海岸方向 : kg/100 m²)

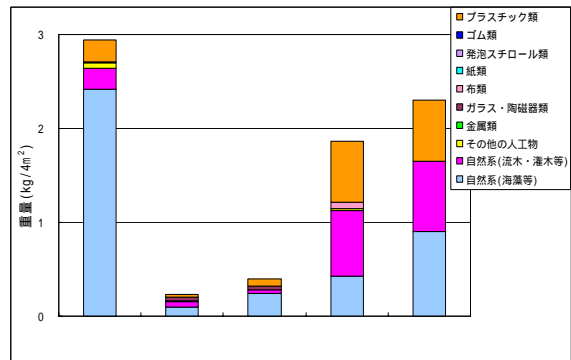


図 23 材質別の重量 (内陸方向 : kg/4 m²)

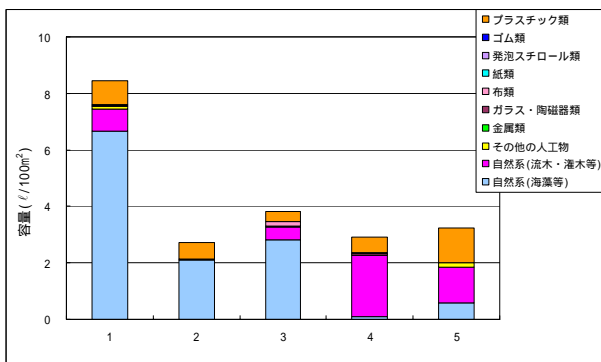


図 24 材質別の容量 (海岸方向 : l/100 m²)

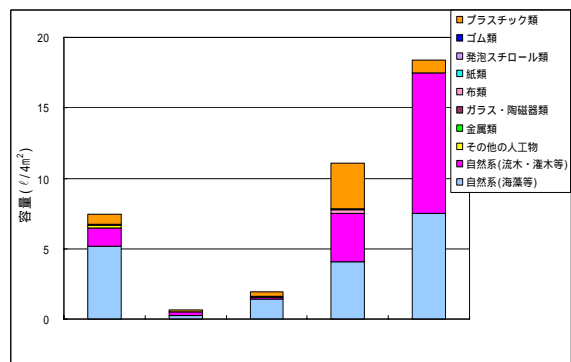


図 25 材質別の容量 (内陸方向 : l/4 m²)

4. 福井県

4.1 第3回目

海岸方向における重量 (kg/100 m²) での集計結果を図 26 に示す。各調査枠での漂着ゴミの重量は St.5 で最も多く、St.4 で最も少なかった。St.5 ではプラスチック類およびその他の人工物が占める割合が高かった。

内陸方向における重量 (kg/4 m²) での集計結果を図 27 に示す。内陸方向の漂着ゴミの重量は汀線より一番遠い 枠で最も多く、汀線から 4~6m の C 枠で最も少なかった。汀線の近くでは海藻が、離れるに従ってプラスチック類や流木等が増加傾向にあった。

また、容量の傾向は、海岸方向、内陸方向とも重量の傾向とほぼ同様であった (図 28、 図 29 参照)。

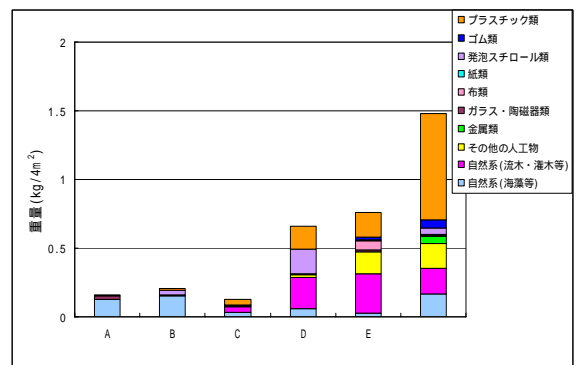
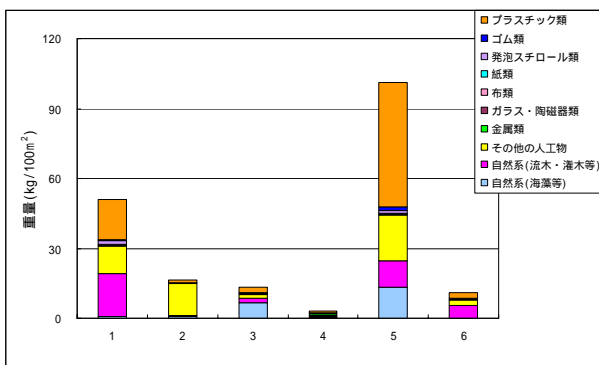


図 26 材質別の重量 (海岸方向 : kg/100 m²)

図 27 材質別の重量 (内陸方向 : kg/4 m²)

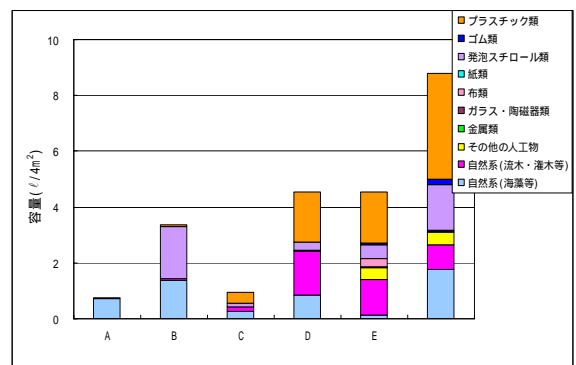
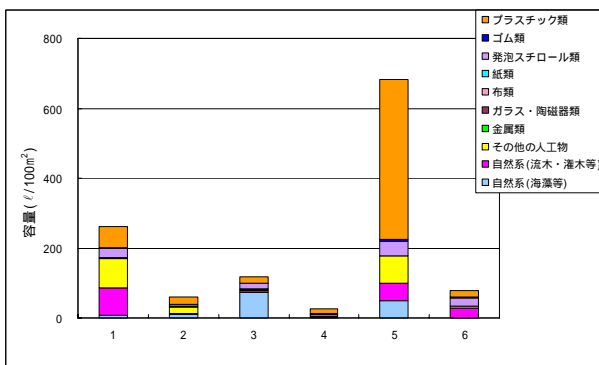


図 28 材質別の容量 (海岸方向 : l/100 m²)

図 29 材質別の容量 (内陸方向 : l/4 m²)

4.2 第4回目

海岸方向における重量 (kg/100 m²) での集計結果を図 30 に示す。各調査枠での漂着ゴミの重量は St.1 で最も多く、St.6 で最も少なかった。

内陸方向における重量 (kg/4 m²) での集計結果を図 31 に示す。内陸方向の漂着ゴミの重量は汀線より 8~10m の E 枠で最も多く、次いで 枠で多かった。汀線の近くでは海藻が、離れるに従ってプラスチック類や流木等が増加傾向にあった。

また、容量の傾向は、海岸方向、内陸方向とも重量の傾向とほぼ同様であった(図 32、図 33 参照)。

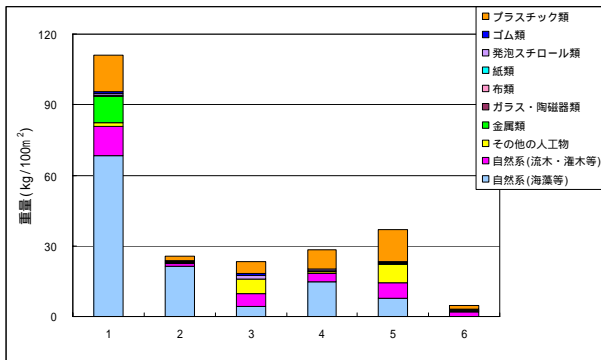


図 30 材質別の重量 (海岸方向 : kg/100 m²)

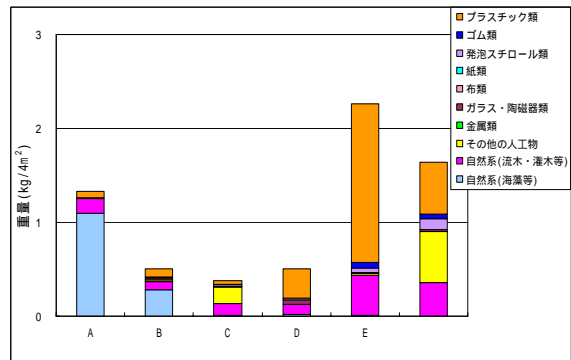


図 31 材質別の重量 (内陸方向 : kg/4 m²)

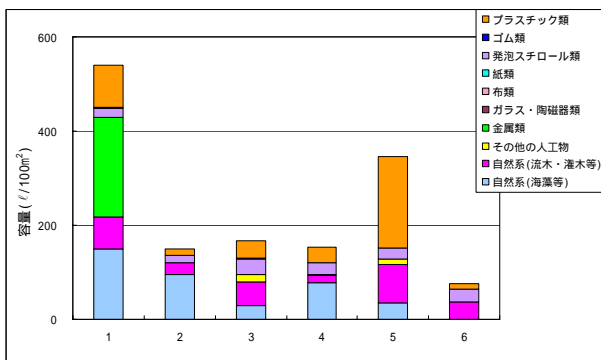


図 32 材質別の容量 (海岸方向 : /100 m²)

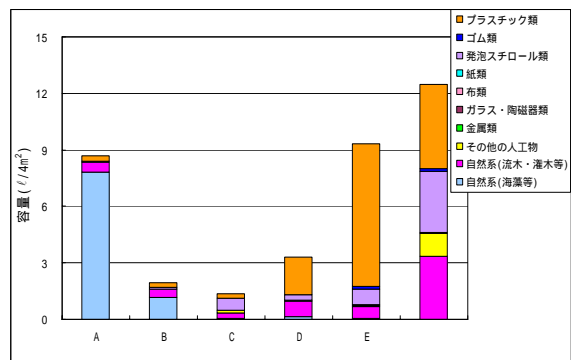


図 33 材質別の容量 (内陸方向 : /4 m²)

5. 三重県

5.1 第3回目

海岸方向における重量(kg/100 m²)での集計結果を図 34 に示す。海岸方向のゴミの重量は、St.5 が最も多く、以下 St.4、St.3、St.2、St.1 の順となった。すべての地点で生物系漂着物(流木・灌木、海藻類)が多かった。

内陸方向における重量(kg/4 m²)での集計結果を図 35 に示す。内陸方向のゴミの重量は汀線から2~4mまでのBが最も多く、次いで汀線~2mのAが多かった。

また、容量の傾向は、海岸方向、内陸方向とも重量の傾向とほぼ同様であった(図 36、図 37 参照)。

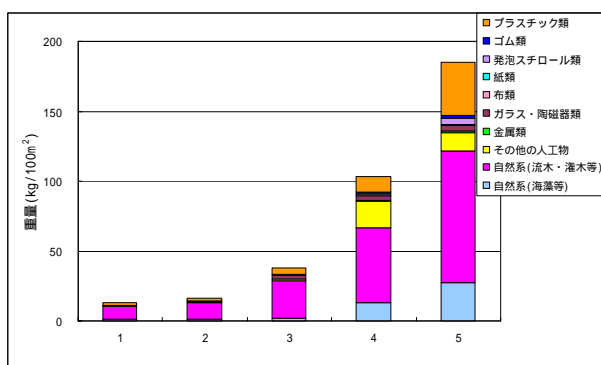


図 34 材質別の重量(海岸方向: kg/100 m²)

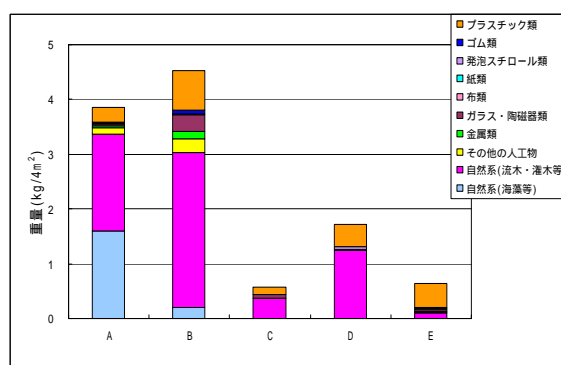


図 35 材質別の重量(内陸方向: kg/4 m²)

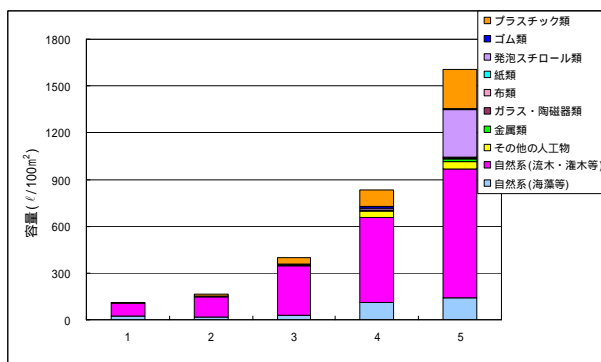


図 36 材質別の容量(海岸方向: /100 m²)

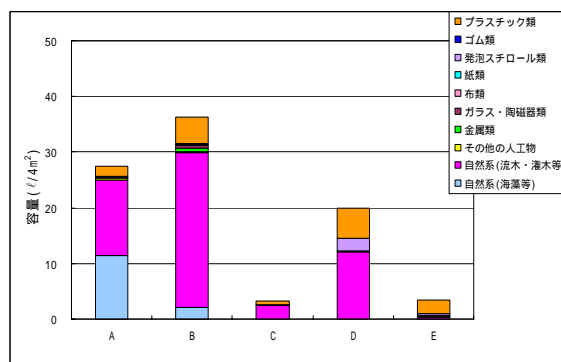


図 37 材質別の容量(内陸方向: /4 m²)

5.2 第4回目

海岸方向における重量(kg/100 m²)での集計結果を図 38 に示す。海岸方向のゴミの重量は、St.4 が最も多く、以下定点5、定点3、定点2、定点1の順となった。すべての地点で生物系漂着物(流木・灌木、海藻類)が多かった。

内陸方向における重量(kg/4 m²)での集計結果を図 39 に示す。内陸方向のゴミの重量は汀線に近いAが最も多く、次いで2~4mのBが多かった。

また、容量の傾向は、海岸方向、内陸方向とも重量の傾向とほぼ同様であった(図 40、図 41 参照)。

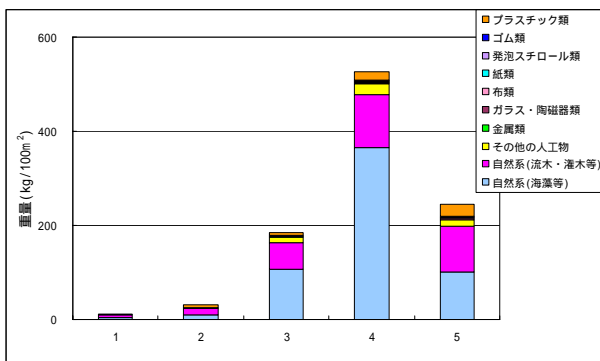


図 38 材質別の重量(海岸方向: kg/100 m²)

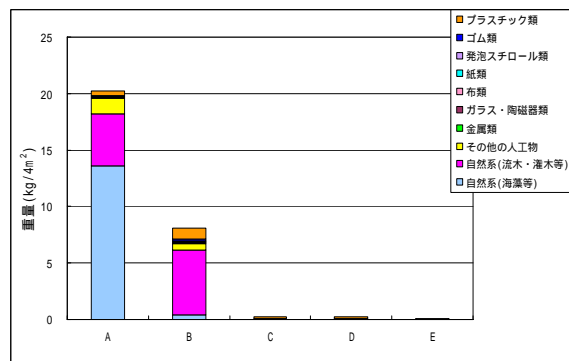


図 39 材質別の重量(内陸方向: kg/4 m²)

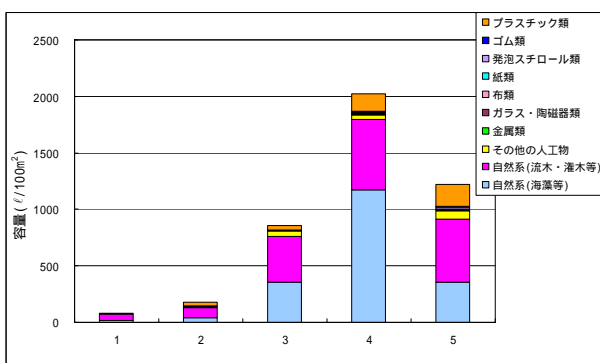


図 40 材質別の容量(海岸方向: l/100 m²)

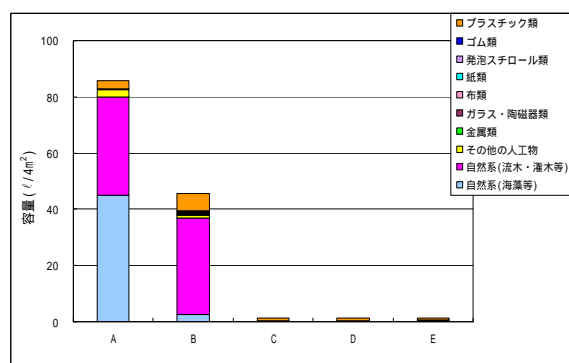


図 41 材質別の容量(内陸方向: l/4 m²)

6. 長崎県 越前海岸

6.1 第3回目

海岸方向における重量 (kg/100 m²) での集計結果を図 42 に示す。ゴミは、東側のテトラポッドに近づくに従い増え、St.4 が最も多かった。種類別では、生物系漂着物 (主に流木) とプラスチック類が多かった。

内陸方向における重量 (kg/4 m²) での集計結果を図 43 に示す。内陸方向のゴミの重量は、汀線~2m の A 枠が多かった。種類別では、生物系漂着物 (流木・灌木、海藻)、プラスチック類が多かった。

また、容量の傾向は、海岸方向、内陸方向とも重量の傾向とほぼ同様であった (図 44、図 45 参照)。

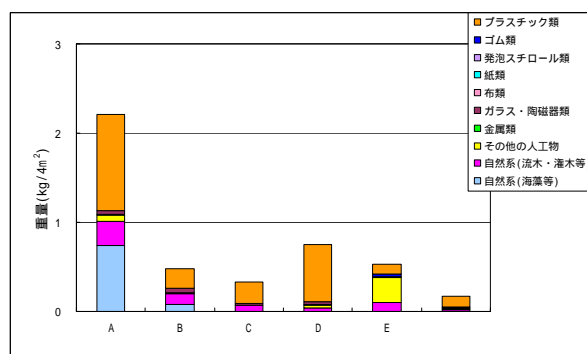
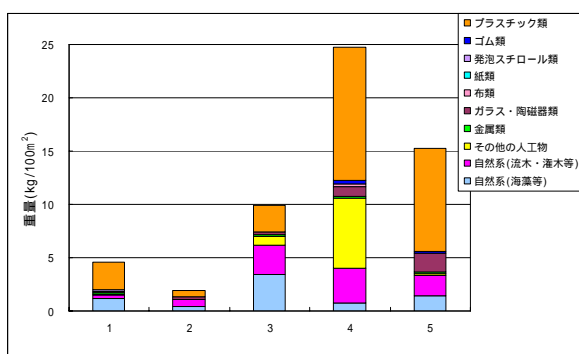


図 42 材質別の重量 (海岸方向 : kg/100 m²)

図 43 材質別の重量 (内陸方向 : kg/4 m²)

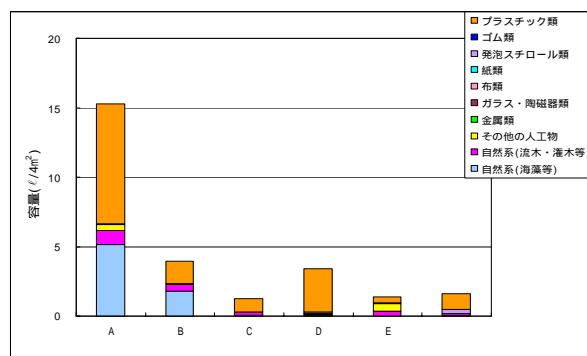
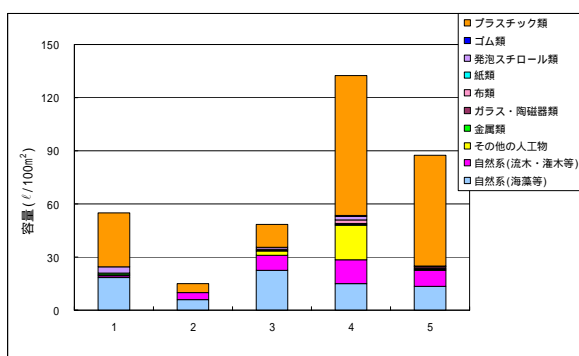


図 44 材質別の容量 (海岸方向 : l/100 m²)

図 45 材質別の容量 (内陸方向 : l/4 m²)

6.2 第4回目

海岸方向における重量 (kg/100 m²) での集計結果を図 46 に示す。ゴミは、東側のテトラポッドに近づくに従い増え、St.5 が最も多かった。種類別では、生物系漂着物 (流木・灌木) とプラスチック類が多かった。

内陸方向における重量 (kg/4 m²) での集計結果を図 47 に示す。内陸方向のゴミの重量は、汀線~2m、2~4m および 8~10m の A、B、E 枠が多かった。種類別では、汀線に近いほど海藻が多かった。

また、容量の傾向は、海岸方向、内陸方向とも重量の傾向とほぼ同様であった (図 48、図 49 参照)。

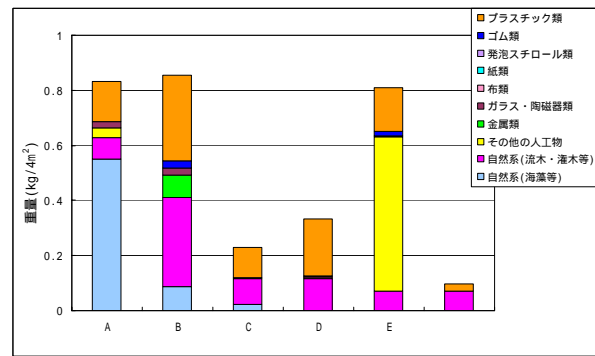
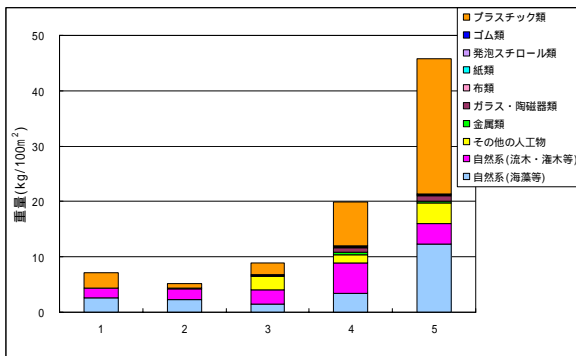


図 46 材質別の重量 (海岸方向 : kg/100 m²)

図 47 材質別の重量 (内陸方向 : kg/4 m²)

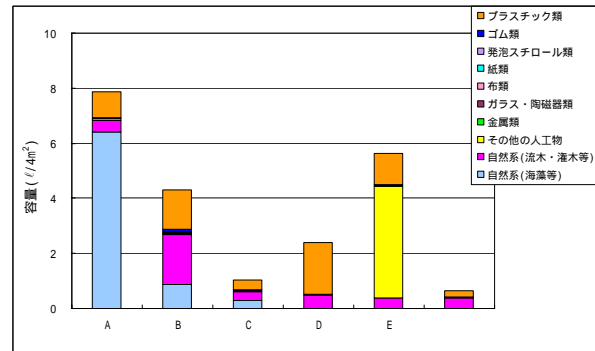
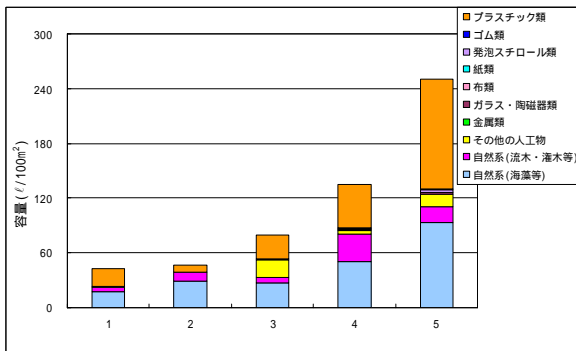


図 48 材質別の容量 (海岸方向 : l/100 m²)

図 49 材質別の容量 (内陸方向 : l/4 m²)

7. 長崎県 志多留海岸

7.1 第3回目

海岸方向における重量 (kg/100 m²) での集計結果を図 50 に示す。海岸方向では、St.5 が最も多かった。St.1~4 においては、種類別でプラスチック類やガラス・陶磁器類が多かった。

内陸方向における重量 (kg/4 m²) での集計結果を図 51 に示す。ゴミは、汀線より 8~10m の範囲の D 枠が最大を示し、ついで 2~4m の B 枠が多かった。

また、容量の傾向は、内陸方向とも重量の傾向とほぼ同様であった (図 52、図 53 参照)。

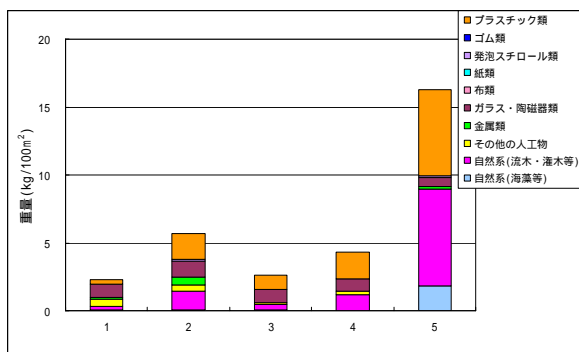


図 50 材質別の重量 (海岸方向 : kg/100 m²)

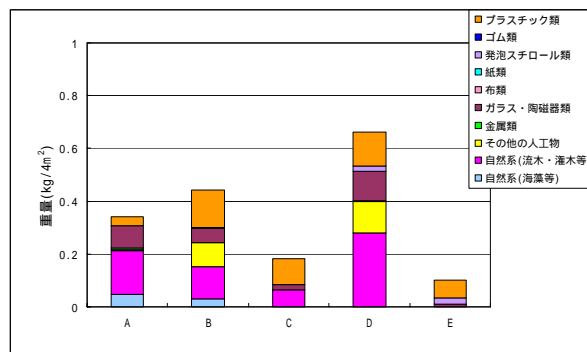


図 51 材質別の重量 (内陸方向 : kg/4 m²)

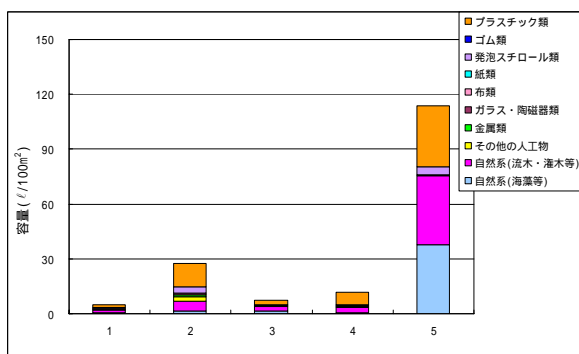


図 52 材質別の容量 (海岸方向 : l/100 m²)

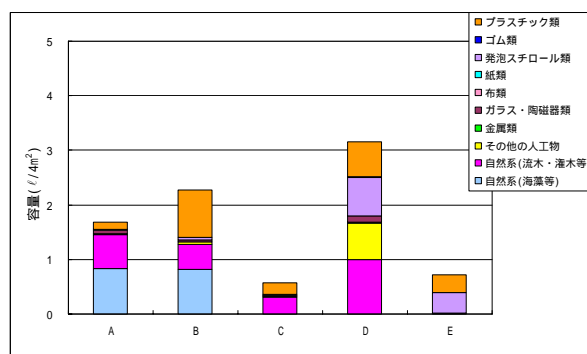


図 53 材質別の容量 (内陸方向 : l/4 m²)

7.2 第4回目

海岸方向における重量 (kg/100 m²) での集計結果を図 54 に示す。海岸方向では、St. 5 が最も多かった。種類別では、生物系漂着物 (海藻) が最も多かった。

内陸方向における重量 (kg/4 m²) での集計結果を図 55 に示す。ゴミは、汀線 ~ 2m の A 枠が最大を示し、ついで 2~4m の B 枠が多かった。ゴミの多い枠では、ほとんどが海藻であった。

また、容量の傾向は、内陸方向とも重量の傾向とほぼ同様であった (図 56、図 57 参照)。

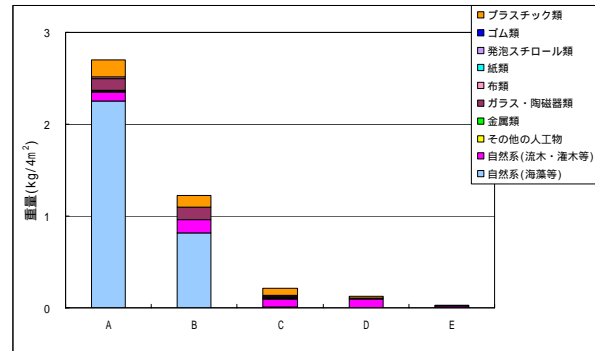
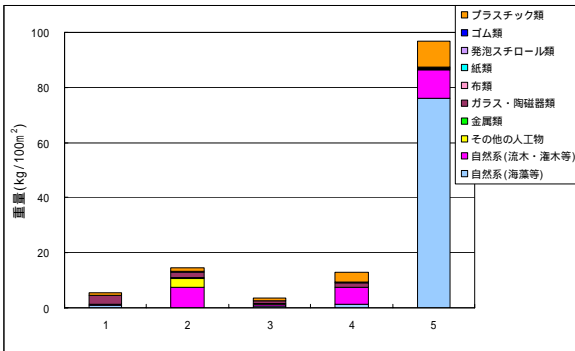


図 54 材質別の重量 (海岸方向 : kg/100 m²)

図 55 材質別の重量 (内陸方向 : kg/4 m²)

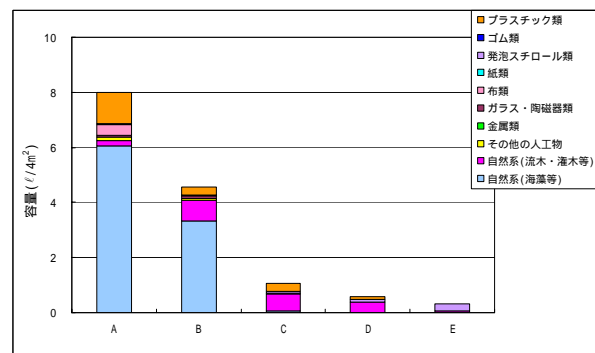
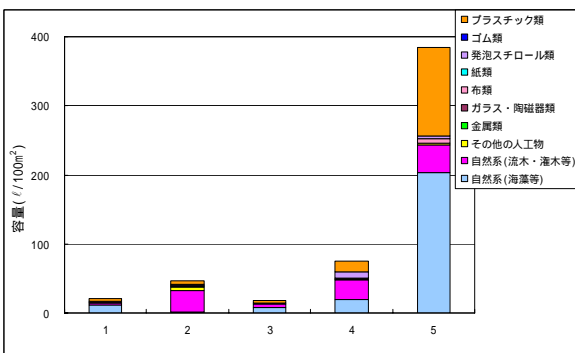


図 56 材質別の容量 (海岸方向 : l/100 m²)

図 57 材質別の容量 (内陸方向 : l/4 m²)

8. 熊本県 樋島海岸

8.1 第3回目

海岸方向における重量 (kg/100 m²) での集計結果を図 58 に示す。海岸方向では、St.5 が最も多かった。種類別では、生物系漂着物 (主に流木) が大部分を占めた。

内陸方向における重量 (kg/4 m²) での集計結果を図 59 に示す。内陸方向は2枠 (A と B) しか設置できなかった。汀線に近い A の重量が B よりも大きくなった。

また、容量の傾向は、海岸方向では重量の傾向とほぼ同様であったが、内陸方向では、A よりも B の方が大きくなった (図 60、図 61 参照)。

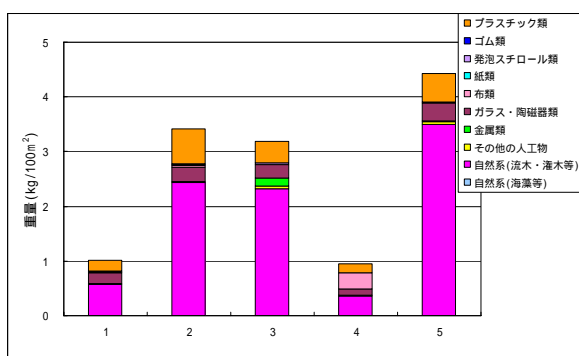


図 58 材質別の重量 (海岸方向 : kg/100 m²)

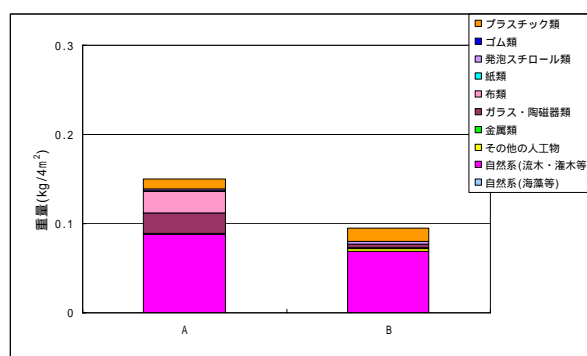


図 59 材質別の重量 (内陸方向 : kg/4 m²)

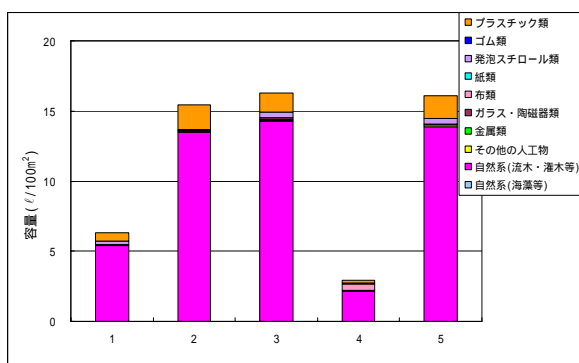


図 60 材質別の容量 (海岸方向 : l/100 m²)

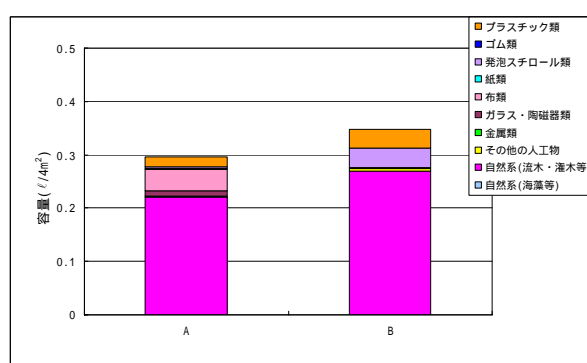


図 61 材質別の容量 (内陸方向 : l/4 m²)

8.2 第4回目

海岸方向における重量 (kg/100 m²) での集計結果を図 62 に示す。海岸方向では、St. 5 が最も多かった。種類別では、生物系漂着物 (主に流木) が大部分を占めた。

内陸方向における重量 (kg/4 m²) での集計結果を図 63 に示す。内陸方向は2 枠 (A と B) しか設置できなかった。汀線に近い A の重量は B の約 6 倍となっていた。種類別では生物系漂着物 (主に流木) が大部分を占めた。

また、容量の傾向は、海岸方向、内陸方向とも重量の傾向とほぼ同様であった (図 64、図 65 参照)。

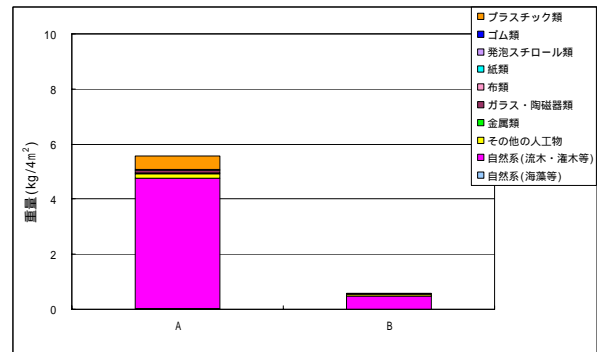
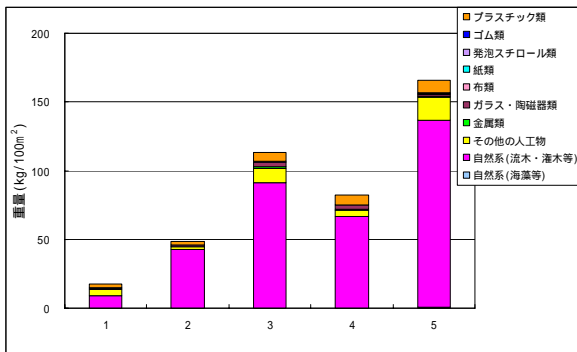


図 62 材質別の重量 (海岸方向 : kg/100 m²)

図 63 材質別の重量 (内陸方向 : kg/4 m²)

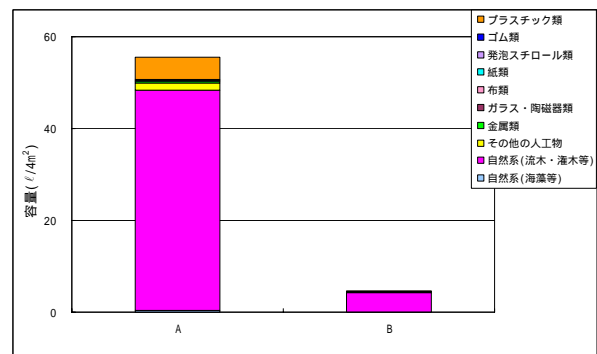
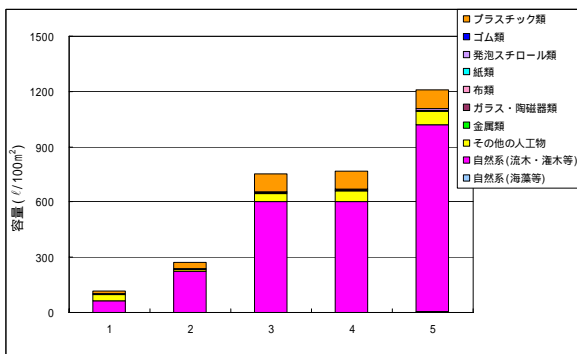


図 64 材質別の容量 (海岸方向 : l/100 m²)

図 65 材質別の容量 (内陸方向 : l/4 m²)

9. 熊本県 富岡海岸

9.1 第3回目

海岸方向における重量 (kg/100 m²) での集計結果を図 66 に示す。海岸方向では、調査 St.2 が最も多かった。種類別では、生物系漂着物 (流木・灌木) が最も多かった。

内陸方向における重量 (kg/4 m²) での集計結果を図 67 に示す。内陸方向では、汀線から 4~6m の場所の C 枠が最も多かった。種類別では、生物系漂着物 (流木・灌木) が最も多かった。

また、容量の傾向は、海岸方向、内陸方向とも重量の傾向とほぼ同様であった (図 68、図 69 参照)。

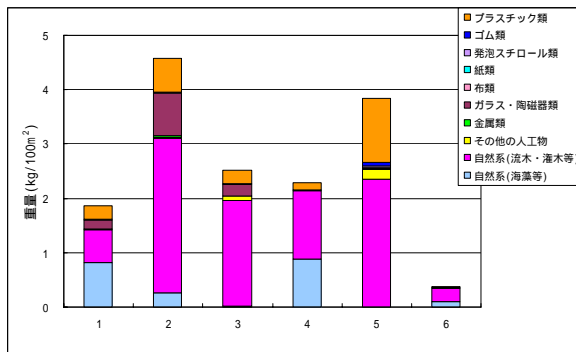


図 66 材質別の重量 (海岸方向 : kg/100 m²)

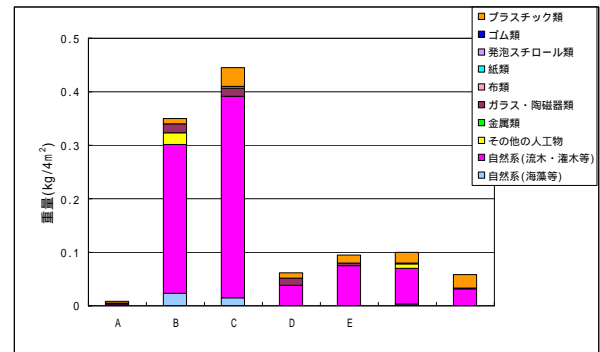


図 67 材質別の重量 (内陸方向 : kg/4 m²)

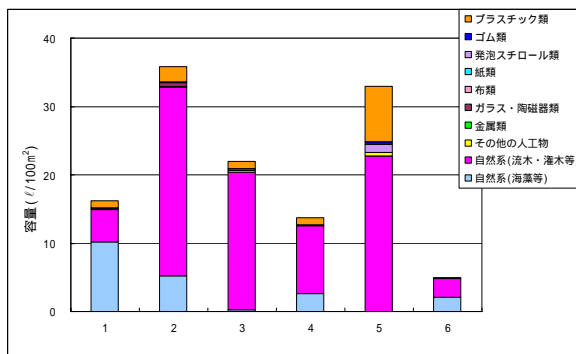


図 68 材質別の容量 (海岸方向 : l/100 m²)

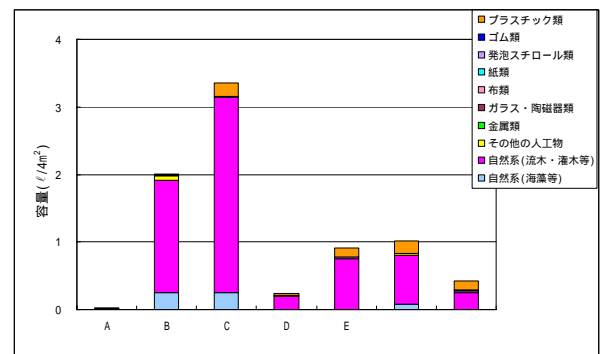


図 69 材質別の容量 (内陸方向 : l/4 m²)

9.2 第4回目

海岸方向における重量 (kg/100 m²) での集計結果を図 70 に示す。海岸方向では、調査 St.1 が最も多かった。種類別では、生物系漂着物 (流木・灌木) が多かったが、St.1 はその他の人工物が最も多かった。

内陸方向における重量 (kg/4 m²) での集計結果を図 71 に示す。内陸方向では、汀線から 4~6mの場所のC 枠が最も多かった。種類別では、生物系漂着物 (流木・灌木) が最も多く、次いでプラスチック類が多かった。

また、容量の傾向は、海岸方向、内陸方向とも重量の傾向とほぼ同様であった (図 72、図 73 参照)。

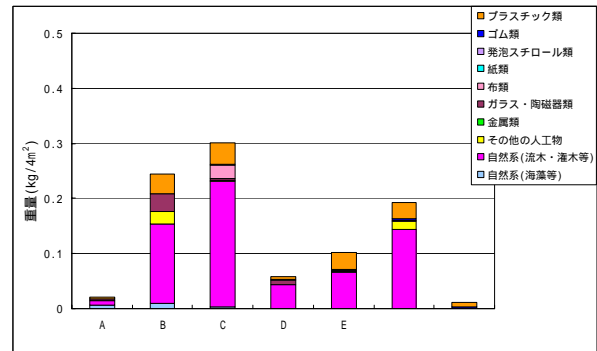
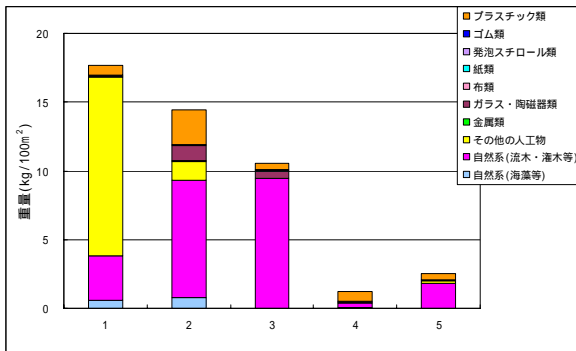


図 70 材質別の重量 (海岸方向 : kg/100 m²)

図 71 材質別の重量 (内陸方向 : kg/4 m²)

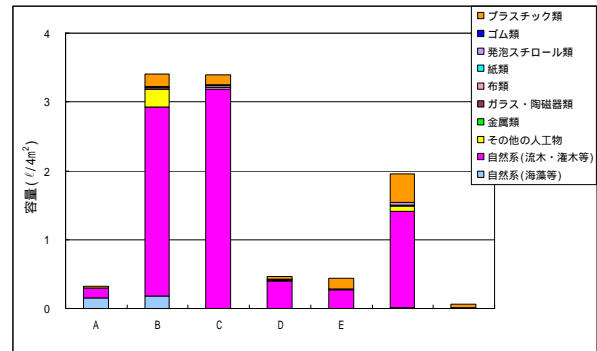
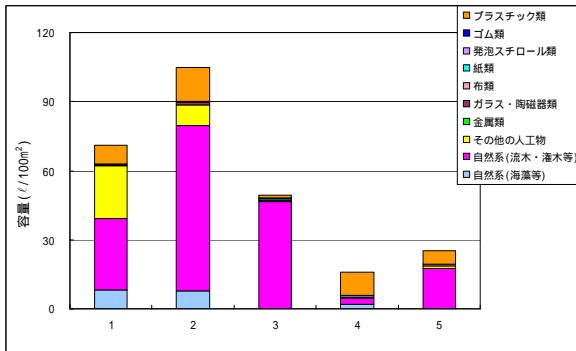


図 72 材質別の容量 (海岸方向 : l/100 m²)

図 73 材質別の容量 (内陸方向 : l/4 m²)

10. 沖縄県 石垣島 (吉原海岸～米原海岸)

10.1 第3回目

海岸方向における重量 (kg/100 m²) での集計結果を図 74 に示す。海岸方向では、St.6 が最も多く、St.2 でもっとも少なかった。種類別では、St.1、2、4 では生物系漂着物 (流木・灌木) が多かったが、他の測点ではプラスチック類や金属類が多かった。

内陸方向における重量 (kg/4 m²) での集計結果を図 75 に示す。内陸方向の漂着ゴミの単位面積重量は、汀線から 8～10m の E 枠でもっとも多く、次いで 枠が多かった。

また、容量の傾向は、海岸方向、内陸方向とも重量の傾向とほぼ同様であった (図 76、図 77 参照)。

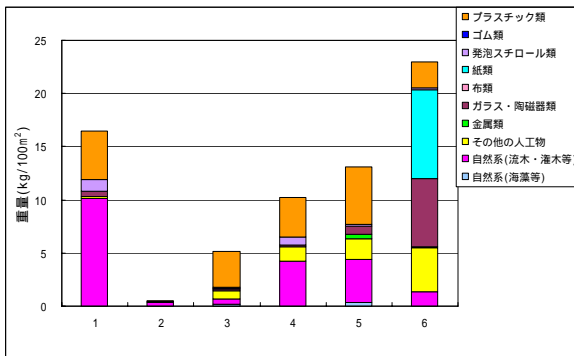


図 74 材質別の重量 (海岸方向 : kg/100 m²)

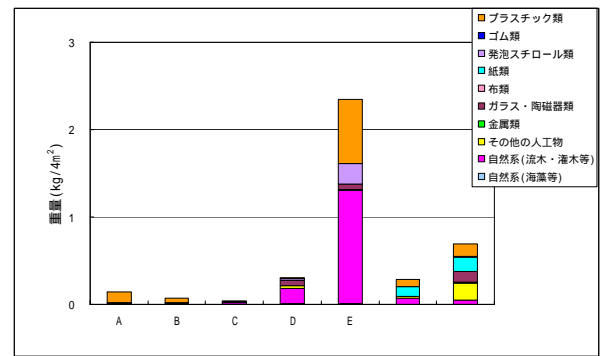


図 75 材質別の重量 (内陸方向 : kg/4 m²)

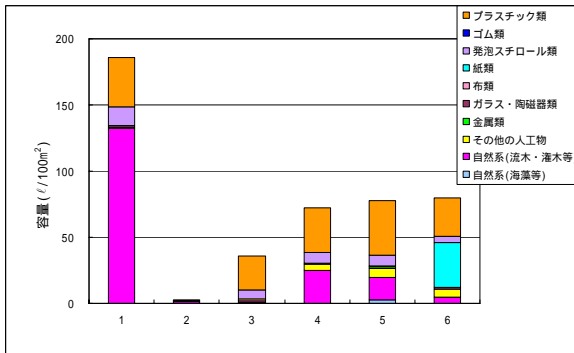


図 76 材質別の容量 (海岸方向 : /100 m²)

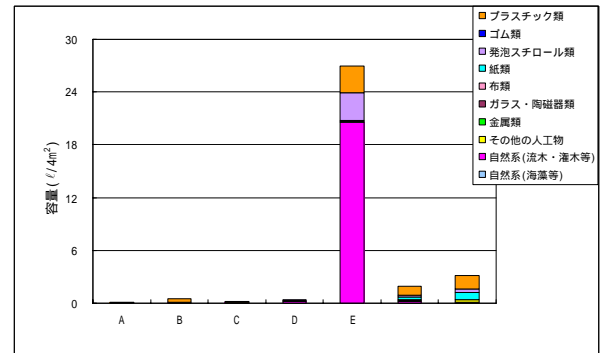


図 77 材質別の容量 (内陸方向 : /4 m²)

10.2 第4回目

海岸方向における重量 (kg/100 m²) での集計結果を図 78 に示す。海岸方向では、St.6 が最も多く、St.1 でもっとも少なかった。種類別では、St.6 ではプラスチック類が多かった。

内陸方向における重量 (kg/4 m²) での集計結果を図 79 に示す。内陸方向の漂着ゴミの単位面積重量は、汀線から 2~4m の B 枠でもっとも多く、次いで汀線~2m の A 枠が多かった。

また、容量の傾向は、海岸方向、内陸方向とも重量の傾向とほぼ同様であった(図 80、図 81 参照)。

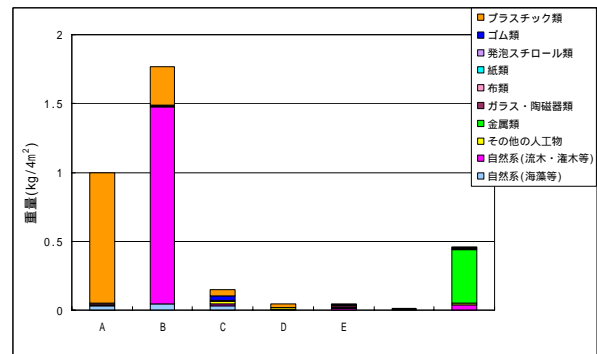
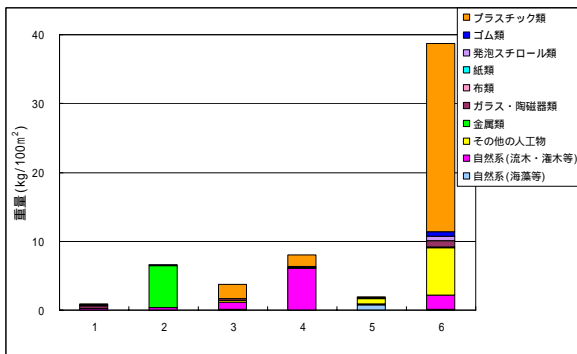


図 78 材質別の重量 (海岸方向 : kg/100 m²)

図 79 材質別の重量 (内陸方向 : kg/4 m²)

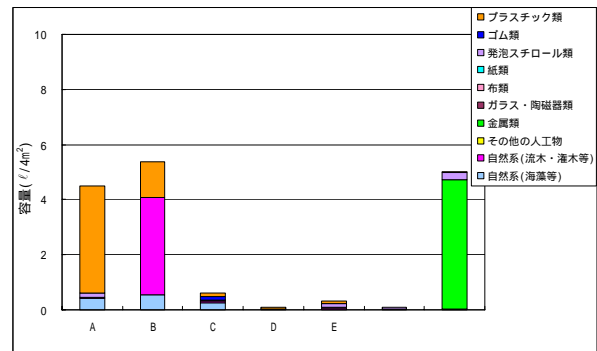
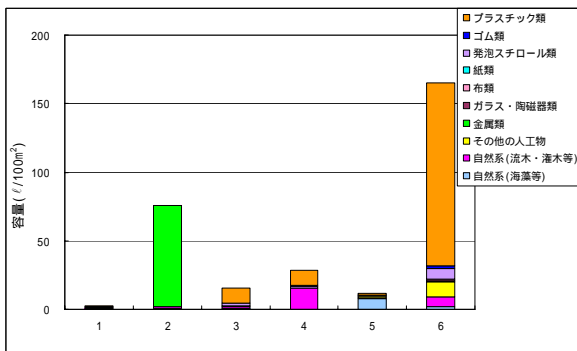


図 80 材質別の容量 (海岸方向 : /100 m²)

図 81 材質別の容量 (内陸方向 : /4 m²)

11. 沖縄県 西表島（住吉～星砂の浜～上原海岸）

11.1 第3回目

海岸方向における重量（kg/100 m²）での集計結果を図 82 に示す。海岸方向では、St.3 が最も多く、St.6 でもっとも少なかった。種類別では、St.6 では生物系漂着物（流木・灌木）が多かった。

内陸方向における重量（kg/4 m²）での集計結果を図 83 に示す。内陸方向の漂着ゴミの単位面積重量は、汀線から 2～4m の B 枠でもっとも多く、次いで 4～6m の C 枠が多かった。

また、容量の傾向は、発泡スチロールの量が多いため内陸方向の奥に行くに従い、容量が大きくなっている（図 84、図 85 参照）。

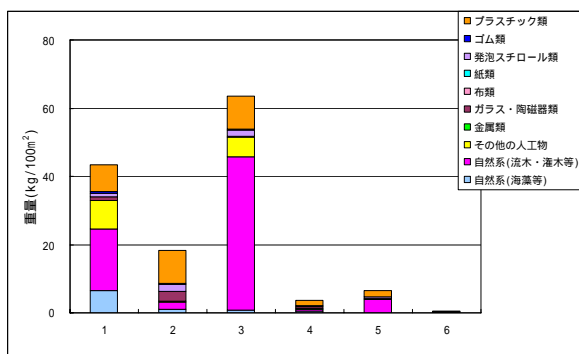


図 82 材質別の重量（海岸方向：kg/100 m²）

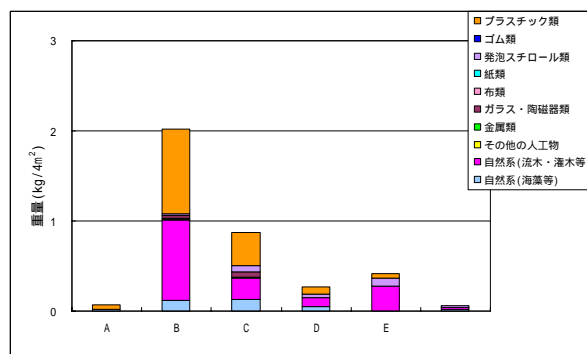


図 83 材質別の重量（内陸方向：kg/4 m²）

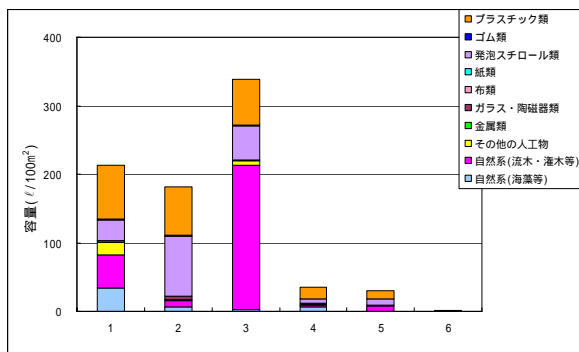


図 84 材質別の容量（海岸方向：/100 m²）

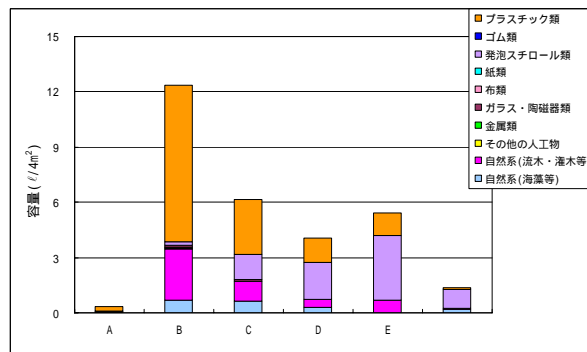


図 85 材質別の容量（内陸方向：/4 m²）

11.2 第4回目

海岸方向における重量 (kg/100 m²) での集計結果を図 86 に示す。海岸方向では、St.3 が最も多く、St.6 でもっとも少なかった。種類別では、生物系漂着物 (流木・灌木) が多かった。

内陸方向における重量 (kg/4 m²) での集計結果を図 87 に示す。内陸方向の漂着ゴミの単位面積重量は、汀線～2m の A 枠でもっとも多く、次いで C 枠が多かった。

また、容量の傾向は、海岸方向、内陸方向とも重量の傾向とほぼ同様であった (図 88、図 89 参照)。

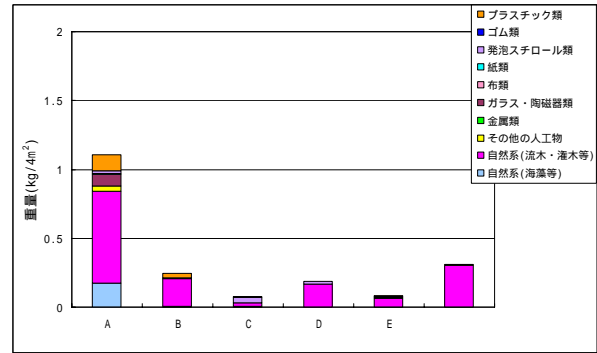
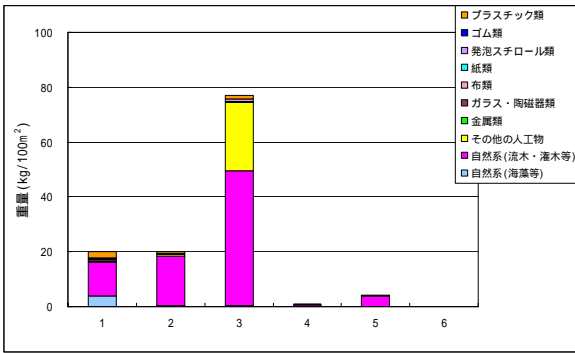


図 86 材質別の重量 (海岸方向 : kg/100 m²)

図 87 材質別の重量 (内陸方向 : kg/4 m²)

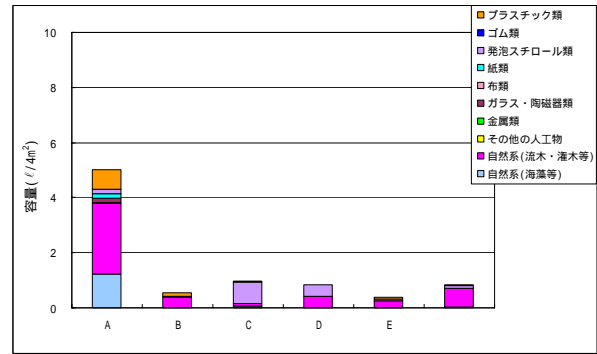
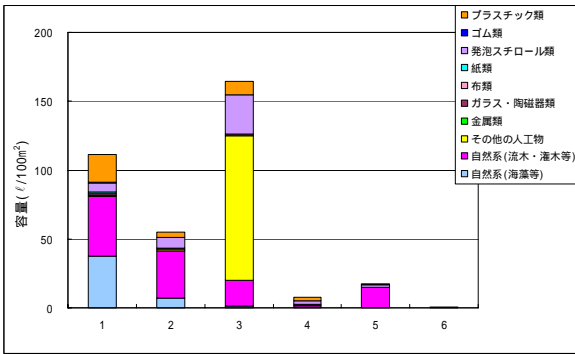


図 88 材質別の容量 (海岸方向 : l/100m²)

図 89 材質別の容量 (内陸方向 : l/4m²)